

ハイキング部だより

第209回

令和3年(2021年)7月18日(日)～琵琶湖のパワースポット白髭神社へ

コース:近江高島駅～鵜川四十八体石仏群～白髭神社～打下集落～
乙女ヶ池～大溝城跡～大溝港～近江高島駅(約7キロ)

参加者 8名



7月18日(日)第209回ハイキングを実施しました。参加者8名。曇時々晴、湖の方から心地よい風が吹き歩きやすい天候となりました。近江高島駅を出ると駅前広場に大きなガリバーの像が立っていました。駅から10キロ余り奥に入ったところ武奈ヶ岳の北部にリクリエーション施設「ガリバー青年旅行村」がありますが、その玄関口ということでこのモニュメントが設置されました。

10時10分スタート、JRの線路沿いに南に向かって約20分歩いたところに鵜川四十八体石仏群がありました。行方不明になったりで現在は33体しかありませんが、慈愛に満ちた顔、あどけない顔、ユーモラスな顔などの阿弥陀如来像が並んでいました。室町時代後期に観音寺城城主の佐々木六角義賢が亡き母の菩提を弔うために建てたと伝えられています。そのあと国道161号線に出て琵琶湖を左に見ながら白髭神社に向かいました。11時白髭神社到着。全国にある白髭神社の総本社で「白髭さん」で親しまれ、延命長寿の神様として又鳥居が海中にあるところから「近江の巖島」として多くの参拝者が訪れます。2015年に日本遺産に登録されました。

白髭神社のあとは元来た道を歩いて打下集落へ、ここで道路をくぐって湖岸へ出ました。比良山系や対岸の彦根方面に三上山(近江富士)などを望むことができ、しばらく眺望を楽しんだ後乙女ヶ池へ、太鼓橋を渡ったところで昼食。食後大溝城跡を通り町の中を歩きました。大溝城は、織田信澄(信長の甥)が築城したもので高島郡内から高家や寺院などを移して城下町をつくりました。乙女ヶ池は琵琶湖の内湖で、大溝城はこの内湖を巧みに利用しており、江戸時代に分部光信が城主になるとこの城を陣屋として明治維新までその統治が続きました。乙女ヶ池は、2013年9月から2014年にかけて放送されたNHK連続ドラマ「ごちそうさん」のロケ地として使われたところから話題になりました。散策のあと近江高島駅に戻り14時21分の新快速で家路に着きました。





乙女ヶ池をバックに



ガリバーの像をバックに

第209回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 琵琶湖のパワースポット白髭神社へ ～

日時： 令和3年7月18日(日) 10時 JR湖西線「近江高島駅」集合

コース：近江高島駅～鵜川四十八体石仏群～白髭神社～打下集落～
乙女ヶ池～大溝城跡～大溝港～近江高島駅(約7キロ)

今回は、琵琶湖に浮かぶ朱塗りの大鳥居で最近人気となっている「白髭神社」周辺の湖岸を歩きます。全国にある白髭神社の総本社で「白髭さん」として親しまれ延命長寿の神様です。2015年(平成27年)に日本遺産に登録され「近江の巖島」と呼ばれています。現在の琵琶湖上の鳥居は、1981年(昭和56年)に再建されたもので高さ12m、柱の間隔は7.8mあります。

大溝城跡は、信長の命により光秀が縄張りをしたと伝えられています。内堀を天然の外堀とした水域で、戦国時代の建築技術「野面積み」が見られる天守の石垣が残っています。乙女ヶ池は、大溝城の外堀として利用された内湖でロケ地にも使われています。駅舎を出るとガリバー青少年旅行村(武奈ヶ岳北部にひろがるレクリエーション施設)のシンボル高さ5mのガリバー像が迎えてくれます。



白髭(しらひげ)神社



鵜川四十八体石仏群(うかわしじゅうはったいせきぶつぐん)



乙女ヶ池



大溝城跡